

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部
〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
E-mail: DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

安倍内閣は安保法制に続き共謀罪も「数の力」で強行採決。報道各社の世論調査では支持率は低下、多くの国民が強行採決は「よくなかった」と回答。選挙で政治を変えるしかありません。

警察庁

「過積載は組織的、構造的な違反と認識しておりましてその背後責任を積極的に追及する必要があると考えております」

国会答弁



答弁に立つ警察庁交通局長谷川豊審議官
現場の実態を知っているのでしょうか。
5月18日参議院国土交通委員会

だったら運転手ばかり検挙するな！

五月十八日、参議院国土交通委員会で日本共産党山添拓議員は、ダンプの過積載問題について質問しました（先月号で既報）。

国土交通省石井大臣は、過積載の背景に荷主などの要求があることを認め、警察庁は「組織的、構造的な違反」「背後責任を積極的に追及する必要がある」と答弁しました。

国交省も警察庁も、過積載の本質的な原因はわかっているのです。ところが、過去五年間だけ見ても荷主・荷受人にたいする再発防止命令の発令は

一件だけです。警察庁は毎年ダンプ部会の要請にたいして、



大手ゼネコンは震災復興、東京オリンピックなどで膨大な利益をあげています。資材単価の大幅な引き上げは十分可能です。警察が取締りさえ徹底すれば！

検挙現場で組合機関紙を

現場の警察官はこの背後責任追及は運転手の協力が得られにくいことを摘発件数のない理由に挙げていました。ところが、改正道交法施行（平成五年）後一年間の実績を調べると七二件も摘発していました。やる気の問題としか思えません。

警察庁が明らかにした過去5年間の過積載取締り件数

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
過積載運転手 検挙件数	4545	3606	3099	3024	3407
荷主・荷受人 禁止命令	0	0	0	1	0

トラック「待機」乗務記録義務付けに

国土交通省は七月から、トラック運送業者（青ナンバー）に対し、荷物の積み下ろしの際に運転手が待機する「荷待ち時間」を乗務記録に残すことを義務化します。

監視社会阻止・共謀罪廃止を

六月十五日、「共謀罪」が成立しました。廃止を求める運動を強めつつ、労働組合としての私たちの姿勢を明確にしたいと思えます。

政府の狙いは「委縮効果」です。警察力には限界があります。国民自身が犯罪の「計画」「準備」と疑われることを過度に意識し、自己規制、抑制することを狙っているのです。

私たちは共謀罪



またもや強行採決。いまや安倍独裁国家。

ダンプ支部組合員のみなさん。この機関紙を運転席に常備してください。そして検挙現場で警察官に国会答弁を示し、低単価の実態を訴え、生コン業者など受け取る側の責任追及をもとめましょう。

厚生労働省はこのような時間も「手待ち時間」として「休憩時間」とは区別し賃金を支給するよう指導しています。しかし多くの事業所で労働時間としてカウントされていません。義務化を周知しよう。

則を改正しました。荷待ち時間は、トラックが集荷場所や配達先に到着してから荷物の積み下ろしを始めるまでの時間で、指定された時刻に到着しても荷主の都合で待機させられるケースが少なくありません。



各職場でがんばる組合員

「評価」ではなく「差別」だ 酸素業界の仲間と親会社へ

【産業ガステクノ支部】

茨城県ひたちなか市にある産業ガス輸送企業。昨年組合を結成し団体交渉を重ねるなかで、従業員に周知されていなかった評価制度が明らかになってきました。賃金に反映されているにもかかわらず、何をどう評価しているのは機密扱いになっており、組合員以外のドライバーからも不満の声が上がっています。五月には全国酸素部会と親会社である太陽日酸東関東に要請を実施。会社の閉鎖的な体質を変える闘いです。



一方的な配車停止 年齢による差別反対

【NIPPO壬生分会】

道路会社最大手NIPPO栃木工場（壬生町）で合材運搬に従事する組合員でつくるNIPPO壬生分会。下請の小林運輸は高齢ドライバーの事故が続発していることを理由に、高齢組合員にたいする「適齢診断」を実施、成績不良を理由に一時配車を停止しました。組合の抗議により配車は再開されましたが、高齢組合員の処遇について今後協議を続けることになっていきます。単価改善等春闘要求も提出



独立行政法人自動車事故対策機構が実施する運転適性検査

中央労働委員会始まる 会社の組合つぶし明らかに

【日祥運輸倉庫支部】

二〇一三年宇都宮市にある運送会社日祥運輸倉庫による組合つぶし（不当労働行為）事件、県地労委は昨年十一月組合の主張を一部認め会社に謝罪文を交付するよう命令を下しました。しかし会社は命令を不服とし中央労働委員会に再審査を申立、現在委員調査が進められています。委員長に対する不当解雇や書記長に対する嫌がらせなど、組合を敵視した会社の実態が、再度明らかになるうとしています。



・次回中央労働委員会は7月28日午後2時～

職場内暴行事件を放置 安心して働ける職場めざして

【(株) 蓼沼運輸】

佐野市に本社のある地元企業です。今年三月、就業時間中就業場所ですら組合員が同社のドライバーから暴行を受ける事件が発生しました。しかし会社は何ら対応しようとしませんでした。不明瞭な賃金体系など様々な課題も抱えており、組合員らは暴行事件を契機に職場改善を契機に職場改善に立ち上がりました。弁護士が会社代理人となり六月二十六日、ようやく団体交渉が開催されることになりました。



職場の改革を求めて 不当な降格人事と闘う

【プリヴェ運輸(株)】

プリヴェ運輸（旧東武運輸プリヴェ）で働く尾嶋秀一さんは、重大事故に直結する違法な長時間運行を拒否したところ、管理職からの降格を命じられ大幅な減収を強いられています。会社は管理職としての資質に問題があるとして降格の撤回に応じようとしていません。しかし録音記録等により、支店長によるパワハラ降格であることが明らかです。尾嶋さんは法律を守って安心して働ける職場をめざして、六月二十一日にも団体交渉を予定しています。



1年契約から無期契約に 労働条件の底上げを

【山本コンクリート工業(株)】

県内の生コン工場で働くミキサ運転手の多くが不安定な非正規雇用です。県内大手の山本コンクリート工業でも以前は正規雇用でしたが、会社は経営危機を理由に期間契約に変更し賃金も大幅に引き下げました。市川和彦さんは組合に加入し「経営は改善している。社長は約束を守ってほしい」とねばり強く訴えました。労働審判を経て今月から晴れて正規雇用契約に復帰、職場では支持者が生まれています。



第8回全国ダンプ交流集会



・七月十五日 ダンプ支部執行委員会
・八月五日 県本部執行委員会

二〇一七年春闘
・フコックス支部 要求 定昇+五千円 受結 定昇のみ
・エアケミ運輸支部 要求 四万五千円 受結 定昇のみ
・SGT支部 要求 四万五千円 受結 交渉中
・神田支部 1744円で受結
・日酸運輸分会 3000円で受結

第八回全国ダンプ交流集会開催
六月十一日～十二日、全国ダンプ部会主催の第八回全国ダンプ交流集会が宮城県仙台市で開催され、栃木ダンプ支部から九名が参加しました。集会では、組織拡大の取り組みが評価され表彰を受けました。（詳しくは全国ダンプ紙参照）

ダンプキャラバン栃木行動は7月27日（木）に決定しました。栃木県、栃木県警に現場の声をぶつけよう！